



## 2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月29日

上場会社名 株式会社ニチダイ

上場取引所 東

コード番号 6467 URL <https://www.nichidai.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 伊藤 直紀

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 山根 隆義

TEL 0774-62-3481

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

2021年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信を予定)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	6,788	33.1	255		250		142	
2021年3月期第2四半期	5,099	35.7	399		273		208	

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 182百万円 ( %) 2021年3月期第2四半期 383百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	15.70	
2021年3月期第2四半期	23.05	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	16,575	12,312	67.2
2021年3月期	15,656	12,169	70.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 11,135百万円 2021年3月期 11,017百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		4.00	4.00
2022年3月期		5.00			
2022年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,600	25.7	400		430		290		32.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 有  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	9,053,300 株	2021年3月期	9,053,300 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	2,066 株	2021年3月期	2,066 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	9,051,234 株	2021年3月期2Q	9,051,234 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算説明動画・資料については、10月29日に当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更等)	9
(会計上の見積りの変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11
3. その他	12
(生産、受注及び販売の状況)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における、当社グループの主要顧客業界である日系自動車産業では、世界各国で半導体供給不足の影響が長期化していることに加え、ASEAN地域における新型コロナウイルス感染拡大に伴う部品供給の問題が生じたことにより、日系自動車メーカーの世界生産台数が前年同期比減の傾向で推移いたしました。

また、以上のような自動車産業に生じている問題は世界各国の市場に影響を及ぼしており、世界の自動車販売台数も前年同期比減の傾向で推移しております。

このような状況のなか、ネットシェイプ事業につきましては、前年下半期からの回復基調の傾向が続き、前年を上回る売上高となりました。その結果、ネットシェイプ事業の売上高は33億6千万円（前年同期比43.7%増）となりました。

アッセンブリ事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により前年大幅に低迷した水準からは回復しているものの、第2四半期に入り、弱含みで推移いたしました。その結果、アッセンブリ事業の売上高は22億4百万円（前年同期比35.2%増）となりました。

フィルタ事業につきましては、国内、海外とも堅調に推移したことから、売上高が計画を上回る水準で推移いたしました。その結果、フィルタ事業の売上高は12億2千2百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

以上の結果、連結売上高は67億8千8百万円（前年同期比33.1%増）となりました。

損益面におきましては、自動車産業における変調の影響が生じ始めているものの、全事業とも増収となったことから、営業利益2億5千5百万円（前年同期は3億9千9百万円の営業損失）、経常利益2億5千万円（前年同期は2億7千3百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億4千2百万円（前年同期は2億8百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産におきましては、前連結会計年度末に比べ9億1千9百万円増加し、165億7千5百万円となりました。これは、主に現金及び預金が4億3千万円、受取手形及び売掛金が2億5千5百万円、電子記録債権が1億3千6百万円、棚卸資産が1億8千4百万円増加した一方、有形固定資産が1億8千5百万円減少したことによるものであります。

負債におきましては、前連結会計年度末に比べ7億7千6百万円増加し、42億6千3百万円となりました。これは、主に買掛金が1億8千1百万円、賞与引当金が1億4千6百万円、リース債務が4億円増加したことによるものであります。

純資産におきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益1億4千2百万円等により、前連結会計年度末に比べて1億4千2百万円増加し、123億1千2百万円となり、自己資本比率は67.2%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4億2千9百万円増加し、35億7千3百万円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は3億8千万円（前年同期比21.7%減）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益2億2千4百万円、減価償却費3億9千2百万円、仕入債務の増加額1億8千万円、賞与引当金の増加額1億4千7百万円の増加要因より、売上債権の増加額3億9千1百万円、たな卸資産の増加額1億8千4百万円、法人税等の支払額7千2百万円の減少要因を差し引いた結果によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3億1千万円（前年同期比28.8%減）となりました。これは、主にネットシェイプ事業用設備及びアッセンブリ事業用設備の更新等、有形固定資産の取得による支出2億7百万円、新基幹システムの構築等、無形固定資産の取得による支出9千1百万円によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は3億4千6百万円（前年同期比74.8%増）となりました。これは、主にセール・アンド・リースバックによる収入4億4千9百万円、長期借入れによる収入4億円、短期借入金の純増加額1億円の増加要因より、長期借入金の返済による支出4億5千2百万円、リース債務の返済による支出1億9百万円、配当金の支払額3千7百万円の減少要因を差し引いた結果によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月30日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,432,547	3,862,794
受取手形及び売掛金	2,527,242	2,783,240
電子記録債権	644,288	781,220
商品及び製品	564,123	653,069
仕掛品	780,390	852,492
原材料及び貯蔵品	456,564	480,282
その他	81,706	111,290
流動資産合計	8,486,863	9,524,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,793,862	1,728,955
機械装置及び運搬具(純額)	1,446,503	1,557,786
土地	1,812,815	1,813,340
その他(純額)	1,001,026	768,143
有形固定資産合計	6,054,209	5,868,225
無形固定資産	611,836	593,728
投資その他の資産	503,353	589,260
固定資産合計	7,169,398	7,051,214
資産合計	15,656,262	16,575,605

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,280,100	1,461,558
短期借入金	-	100,000
1年内返済予定の長期借入金	762,592	802,783
リース債務	20,682	274,811
未払法人税等	55,858	76,611
賞与引当金	156,683	303,546
その他	579,323	512,468
流動負債合計	2,855,239	3,531,778
固定負債		
長期借入金	598,668	505,625
リース債務	33,079	179,337
退職給付に係る負債	-	46,672
固定負債合計	631,747	731,634
負債合計	3,486,987	4,263,413
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,429,921	1,429,921
資本剰余金	1,192,857	1,192,857
利益剰余金	8,062,488	8,168,404
自己株式	△1,236	△1,236
株主資本合計	10,684,030	10,789,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,040	4,693
為替換算調整勘定	290,912	306,393
退職給付に係る調整累計額	35,732	34,345
その他の包括利益累計額合計	333,685	345,432
非支配株主持分	1,151,558	1,176,813
純資産合計	12,169,274	12,312,191
負債純資産合計	15,656,262	16,575,605

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	5,099,371	6,788,428
売上原価	4,512,164	5,450,227
売上総利益	587,207	1,338,201
販売費及び一般管理費	986,385	1,082,778
営業利益又は営業損失(△)	△399,178	255,423
営業外収益		
受取利息	5,527	1,939
受取配当金	372	358
受取保険金及び保険配当金	3,850	4,824
保険解約返戻金	905	—
助成金収入	132,387	—
その他	5,667	4,929
営業外収益合計	148,710	12,051
営業外費用		
支払利息	3,426	5,309
為替差損	18,821	11,088
その他	1,166	898
営業外費用合計	23,413	17,295
経常利益又は経常損失(△)	△273,881	250,179
特別利益		
固定資産売却益	521	531
特別利益合計	521	531
特別損失		
減損損失	—	26,346
固定資産除却損	1,026	311
特別損失合計	1,026	26,658
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△274,386	224,051
法人税、住民税及び事業税	51,909	78,138
法人税等調整額	△108,171	△21,913
法人税等合計	△56,262	56,225
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△218,124	167,826
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,475	25,705
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△208,649	142,120

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△218,124	167,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,614	△2,346
為替換算調整勘定	△174,203	18,340
退職給付に係る調整額	6,532	△1,387
その他の包括利益合計	△165,056	14,606
四半期包括利益	△383,180	182,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△326,027	153,867
非支配株主に係る四半期包括利益	△57,153	28,566

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△274,386	224,051
減価償却費	384,850	392,318
減損損失	—	26,346
賞与引当金の増減額(△は減少)	87,604	147,373
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△22,222	△52,685
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	46,558
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	—
受取利息及び受取配当金	△5,899	△2,298
保険解約返戻金	△905	—
受取保険金及び保険配当金	△3,850	△4,824
助成金収入	△132,387	—
支払利息	3,426	5,309
固定資産除却損	1,026	311
固定資産売却損益(△は益)	△521	△531
売上債権の増減額(△は増加)	942,113	△391,012
棚卸資産の増減額(△は増加)	△71,990	△184,952
仕入債務の増減額(△は減少)	△353,682	180,722
その他	△57,906	53,359
小計	495,259	440,048
利息及び配当金の受取額	6,012	2,307
利息の支払額	△3,505	△5,307
法人税等の支払額	△82,268	△72,204
法人税等の還付額	70,957	15,827
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>486,455</b>	<b>380,669</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△113,328	△288,677
定期預金の払戻による収入	111,655	288,049
有形固定資産の取得による支出	△333,823	△207,259
有形固定資産の売却による収入	1,045	3,443
投資有価証券の取得による支出	△502	△13,015
保険積立金の解約による収入	2,622	—
無形固定資産の取得による支出	△101,884	△91,082
その他	△1,638	△1,594
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△435,852</b>	<b>△310,138</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	150,000	100,000
長期借入れによる収入	600,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△444,992	△452,852
セール・アンド・リースバックによる収入	—	449,319
リース債務の返済による支出	△12,066	△109,457
配当金の支払額	△90,555	△37,000
非支配株主への配当金の支払額	△4,002	△3,310
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>198,382</b>	<b>346,699</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△65,662	11,846
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	183,323	429,078
現金及び現金同等物の期首残高	3,367,838	3,144,084
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,551,161	3,573,162

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

##### (1) 履行義務への取引価格の配分

当社における製品の販売と設備の正常稼働確認等のサービス提供が一体となった取引について、従来は、取引価格に含まれるマージンを製品に配分しておりましたが、製品とサービスの独立販売価格の比率に基づき、取引価格を配分する方法に変更しております。

##### (2) 変動対価が含まれる取引に係る収益認識

一部の海外連結子会社における売上リベートについて、従来は、金額確定時に売上高から控除しておりましたが、取引の対価の変動部分の額を見積り、認識した収益の著しい減額が発生しない可能性が高い部分に限り取引価格に含める方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,670千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ同額減少しております。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、当第2四半期連結会計期間の四半期連結貸借対照表において、流動資産の「受取手形及び売掛金」が9,425千円、流動負債の「その他」に含まれております「返金負債」が9,425千円増加しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(無形固定資産の耐用年数の変更)

当社が保有するソフトウェアは、従来、耐用年数を5年として減価償却を行ってきましたが、第1四半期連結会計期間において、基幹システムを再構築したことに伴い、ソフトウェアの経済的耐用年数を検討した結果、当該基幹システムについては10年間使用可能であると判断したため、耐用年数を10年に見直しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の減価償却費は18,173千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は同額増加しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

ASEAN地域における新型コロナウイルス感染症拡大に伴う部品供給の問題に加え、半導体の供給不足の影響が生じており、生産が停滞しておりますが、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ネットシェイブ	アッセンブリ	フィルタ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,338,550	1,630,324	1,130,496	5,099,371	—	5,099,371
セグメント間の内部 売上高又は振替高	285	—	—	285	△285	—
計	2,338,836	1,630,324	1,130,496	5,099,657	△285	5,099,371
セグメント利益又は損失(△)	△308,142	△125,295	159,556	△273,881	—	△273,881

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ネットシェイプ	アッセンブリ	フィルタ	計		
売上高						
日本	2,092,369	943,471	807,306	3,843,146	—	3,843,146
タイ	600,304	1,261,487	55,493	1,917,285	—	1,917,285
その他	668,289	—	359,706	1,027,996	—	1,027,996
顧客との契約から生じる収益	3,360,963	2,204,958	1,222,506	6,788,428	—	6,788,428
外部顧客への売上高	3,360,963	2,204,958	1,222,506	6,788,428	—	6,788,428
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47,355	—	—	47,355	△47,355	—
計	3,408,318	2,204,958	1,222,506	6,835,784	△47,355	6,788,428
セグメント利益	87,844	345	161,988	250,179	—	250,179

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益であります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「ネットシェイプ」の売上高は1,670千円減少し、セグメント利益は同額減少しております。

(耐用年数の変更)

「会計上の見積りの変更」に記載のとおり、当社が保有するソフトウェアは、従来、耐用年数を5年として減価償却を行ってまいりましたが、第1四半期連結会計期間において、基幹システムを再構築したことに伴い、ソフトウェアの経済的耐用年数を検討した結果、当該基幹システムについては10年間使用可能であると判断したため、耐用年数を10年に見直しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、「ネットシェイプ」で11,940千円、「アッセンブリ」で2,907千円、「フィルタ」で3,325千円増加しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

## 3. その他

(生産、受注及び販売の状況)

## (1) 販売実績

(単位：千円)

事業別	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
ネットシェイプ	2,338,550	45.8	3,360,963	49.5
アッセンブリ	1,630,324	32.0	2,204,958	32.5
フィルタ	1,130,496	22.2	1,222,506	18.0
合計	5,099,371	100.0	6,788,428	100.0

(注) 内、海外向売上高

事業別	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
ネットシェイプ	868,426	37.1	1,268,594	37.7
アッセンブリ	670,623	41.1	1,261,487	57.2
フィルタ	290,997	25.7	415,199	34.0
合計	1,830,047	35.9	2,945,281	43.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注状況

(単位：千円)

事業別	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ネットシェイプ	1,990,343	967,601	3,315,380	1,276,021
アッセンブリ	1,164,982	1,143,249	2,093,949	1,411,175
フィルタ	1,274,402	683,823	1,246,617	680,805
合計	4,429,728	2,794,674	6,655,947	3,368,003

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. ネットシェイプの精密鍛造品部門とアッセンブリの受注状況には、内示受注高を含んでおります。

## (3) 生産実績

(単位：千円)

事業別	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
	金額	金額
ネットシェイプ	2,186,989	3,300,272
アッセンブリ	1,599,758	2,287,741
フィルタ	1,124,093	1,209,714
合計	4,910,842	6,797,729

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。